

1 地域別の経済規模と推移

平成23年の地域別の経済規模を生産額で比較すると（表1及び図1）、「道央」が20兆9,762億円と最も大きく、北海道全体の生産額33兆4,497億円のうち62.7%を占めている。次いで「道北」が3兆4,500億円（シェア10.3%）、以下、「道南」2兆4,998億円（同7.5%）、「釧路・根室」2兆4,351億円（同7.3%）、「十勝」2兆1,069億円（同6.3%）、「オホーツク」1兆9,816億円（同5.9%）の順となっている。

平成17年の生産額の割合と比較すると、「道央」のみシェアは上昇し、生産額についても「道央」のみが増加している。

表1 地域別生産額の推移

	生産額（億円）				構成比（%）				生産額の伸び率（%）		
	平成10年	平成15年	平成17年	平成23年	平成10年	平成15年	平成17年	平成23年	10～15年	15～17年	17～23年
道央	204,945	199,968	207,040	209,762	58.4	59.7	60.9	62.7	▲ 2.4	3.5	1.3
道南	28,462	28,382	26,764	24,998	8.1	8.5	7.9	7.5	▲ 0.3	▲ 5.7	▲ 6.6
道北	42,330	37,457	37,306	34,500	12.1	11.2	11.0	10.3	▲ 11.5	▲ 0.4	▲ 7.5
オホーツク	23,525	22,031	20,954	19,816	6.7	6.6	6.2	5.9	▲ 6.4	▲ 4.9	▲ 5.4
十勝	25,308	23,361	22,914	21,069	7.2	7.0	6.7	6.3	▲ 7.7	▲ 1.9	▲ 8.1
釧路・根室	26,133	23,777	24,859	24,351	7.5	7.1	7.3	7.3	▲ 9.0	4.6	▲ 2.0
北海道計	350,703	334,975	339,837	334,497	100.0	100.0	100.0	100.0	▲ 4.5	1.5	▲ 1.6

図1 道内生産額に占める地域別生産額の割合とその推移



2 地域別産業構造

各地域の5産業別（注1）生産額の構成比をみると（図2）、「道央」は全道と比較して第1次産業の割合が低く、第3次産業の割合が高い。特化係数（注2）をみると（表2）、製造業部門の石油・石炭製品、鉄鉄・粗鋼が高い値を示している。

「道南」は、全道と比較して建設業の割合が高い。特化係数では、漁業、製造業部門の水産食料品、窯業・土石製品が高い値を示している。

「道北」は、全道と比較して第1次産業、建設業、第3次産業の割合が高い。特化係数では、林業、製造用部門の繊維、木材・家具が高い値を示している。

「オホーツク」は、全道と比較して第1次産業、製造業、建設業の割合が高い。特化係数では、林業、漁業、製造業部門の木材・家具が高い値を示している。

「十勝」は、全道と比較して第1次産業、建設業の割合が高い。特化係数では、農業、林業、製造業部門の食肉・畜産食料品が高い値を示している。

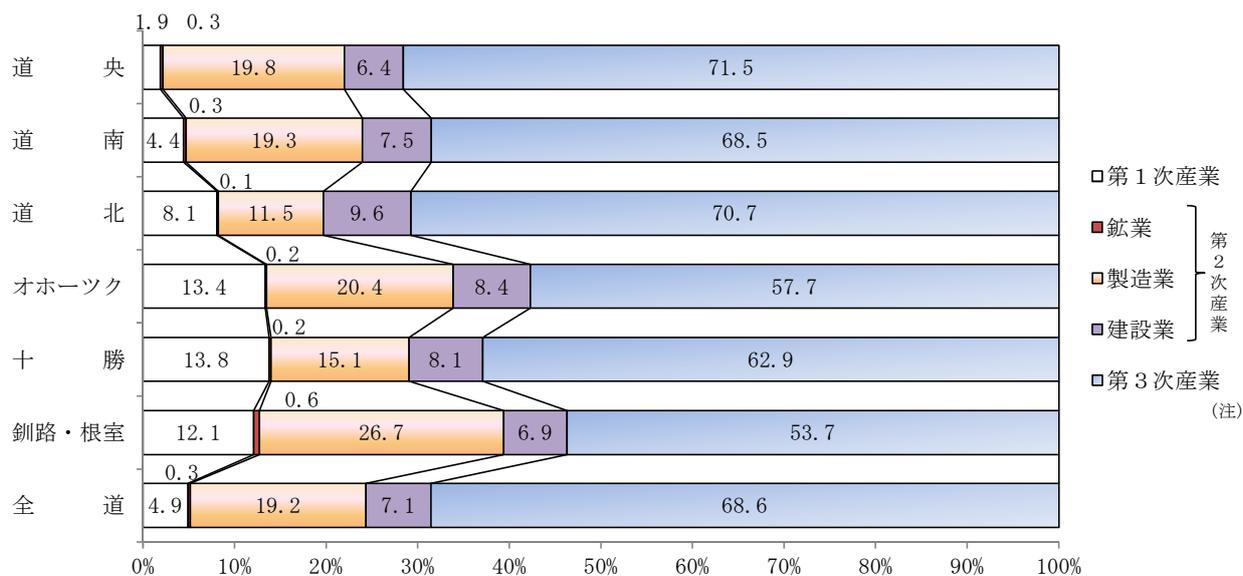
「釧路・根室」は、全道と比較して第1次産業、製造業の割合が高い。特化係数では、漁業、製造業部門の水産食料品、化学製品が高い値を示している。

このように、特化係数をみると、道央は製造業、道央以外の5地域では第1次産業とその関連食品産業などの値が高いことがわかる。

（注1） 5産業とは、第1次産業、第2次産業の鉱業、第2次産業の製造業、第2次産業の建設業及び第3次産業である。（以下同じ。）

（注2） 地域別産業別生産額の割合を、対応する道内生産額の産業別の割合で除して求めた係数である。「1」であれば、地域における当該産業の生産額の割合が、道内全体における割合と同じであることを示す。

図2 地域別産業構造（5産業別）



(注) 第1次産業：農業、林業、漁業

第2次産業：鉱業、製造業、建設業

第3次産業：電力・ガス・水道、商業、金融・保険・不動産、運輸・情報通信、公務、サービス業、分類不明

と分類している。(13部門分類(参考表参照)、以下同じ。)

表2 地域別産業別特化係数

	道央	道南	道北	オホーツク	十勝	釧路・根室
1 農業	0.42	0.59	1.67	2.36	3.40	2.25
2 林業	0.39	0.89	1.78	4.00	2.51	1.51
3 漁業	0.23	2.31	1.52	3.93	0.31	3.77
4 鉱業	1.00	0.99	0.52	0.57	0.75	2.26
5 製造業	1.04	1.01	0.60	1.06	0.79	1.39
うち 食肉・畜産食料品	0.54	1.51	0.99	2.11	2.28	2.47
水産食料品	0.27	3.61	0.83	1.86	0.19	4.81
その他の食料品	0.76	1.18	0.89	1.62	1.92	1.71
繊維	0.66	1.46	3.73	0.18	0.60	0.57
木材・家具	0.59	0.82	1.83	3.43	1.45	1.20
パルプ・紙	0.98	0.11	1.07	0.04	0.26	3.38
印刷・製版・製本	1.23	0.54	0.98	0.36	0.66	0.37
化学製品	0.88	0.59	0.18	0.98	1.17	3.47
石油・石炭製品	1.59	0.00	0.03	0.00	0.02	0.00
窯業・土石製品	0.82	2.68	1.20	0.97	0.94	0.59
鉄鉄・粗鋼	1.59	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
鉄鋼一次製品	1.56	0.11	0.05	0.04	0.04	0.04
非鉄金属一次製品	1.55	0.14	0.04	0.16	0.08	0.00
金属製品	1.26	0.43	0.66	0.46	0.80	0.43
機械	1.01	1.64	0.43	2.20	0.81	0.21
その他(注)	1.14	0.62	0.84	0.90	0.58	0.84
6 建設業	0.91	1.05	1.35	1.19	1.14	0.97
7 電力・ガス・水道業	1.15	1.38	0.64	0.52	0.64	0.53
8 商業	1.06	0.86	1.00	0.83	1.01	0.79
9 金融・保険・不動産	1.08	0.97	0.95	0.84	0.65	0.87
10 運輸・情報通信	1.08	0.97	0.86	0.79	0.90	0.76
11 公務	0.90	1.00	1.57	1.09	1.05	0.92
12 サービス業	1.04	1.03	1.04	0.83	1.00	0.74
13 分類不明	0.96	1.00	1.07	1.11	1.16	1.04

(注) 33部門分類(参考表参照)における皮革・ゴム、その他の製造品及び事務用品

3 地域別域際収支

各地域の域際収支をみると（図3、表3-1、表3-2）、「道央」の道外域際収支（注1）は、鉱業や機械が赤字となっており、全体では2兆3,911億円の赤字と大幅な輸移入超過となっている。また、道内域際収支（注2）は、石油・石炭製品が黒字となっており、全体では9,921億円の黒字と大幅な移出超過となっている。

その他の5地域をみると、道外域際収支では「道南」、「道北」、「十勝」及び「オホーツク」が赤字となっているが、「釧路・根室」では黒字となっている。また道内域際収支では、製造業や第3次産業の赤字幅が大きく、5地域ともに赤字となっている。

道外域際収支と道内域際収支を合計した域際収支計では、6地域すべてで赤字となっている。

（注1） 道外域際収支とは、ある道内地域と道外（海外含む。）との取引（取引）の収支である。

（注2） 道内域際収支とは、ある道内地域とその他の道内5地域との取引（取引）の収支である。

図3 地域別域際収支

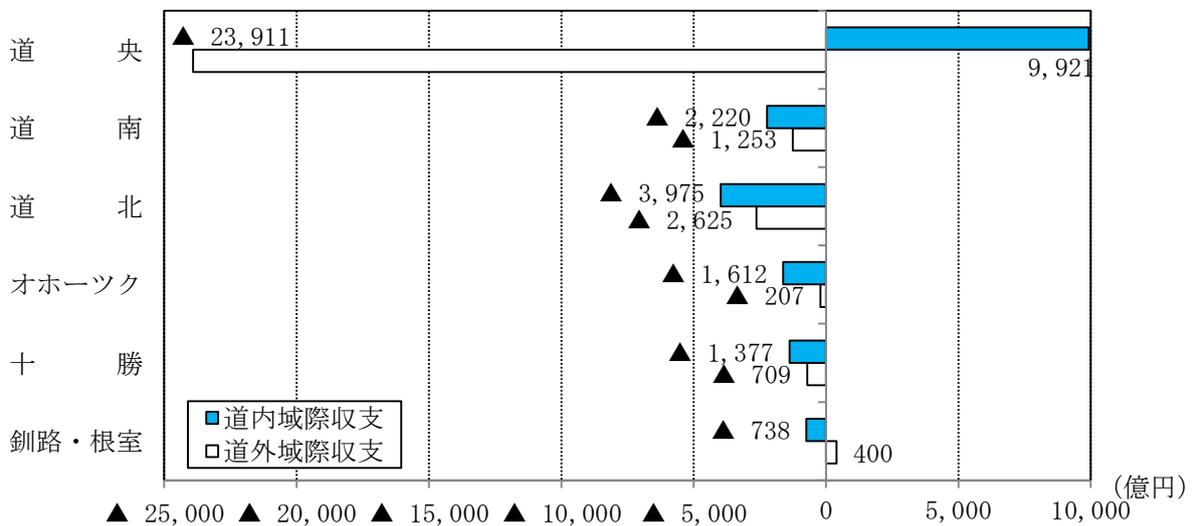


表3-1 地域別域際収支

(億円)

	道外 域際収支	道内 域際収支	域際収支計
道 央	▲ 23,911	9,921	▲ 13,990
道 南	▲ 1,253	▲ 2,220	▲ 3,472
道 北	▲ 2,625	▲ 3,975	▲ 6,600
オホーツク	▲ 207	▲ 1,612	▲ 1,819
十 勝	▲ 709	▲ 1,377	▲ 2,085
釧路・根室	400	▲ 738	▲ 338
北海道 計	▲ 28,304	0	▲ 28,304

表3-2 地域別産業別域際収支

(億円)

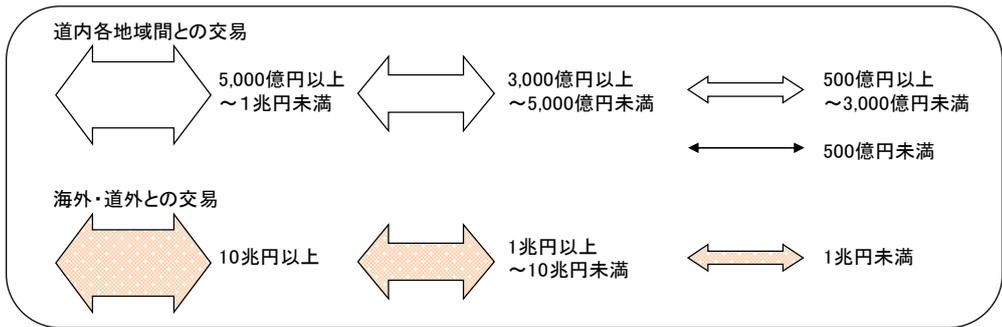
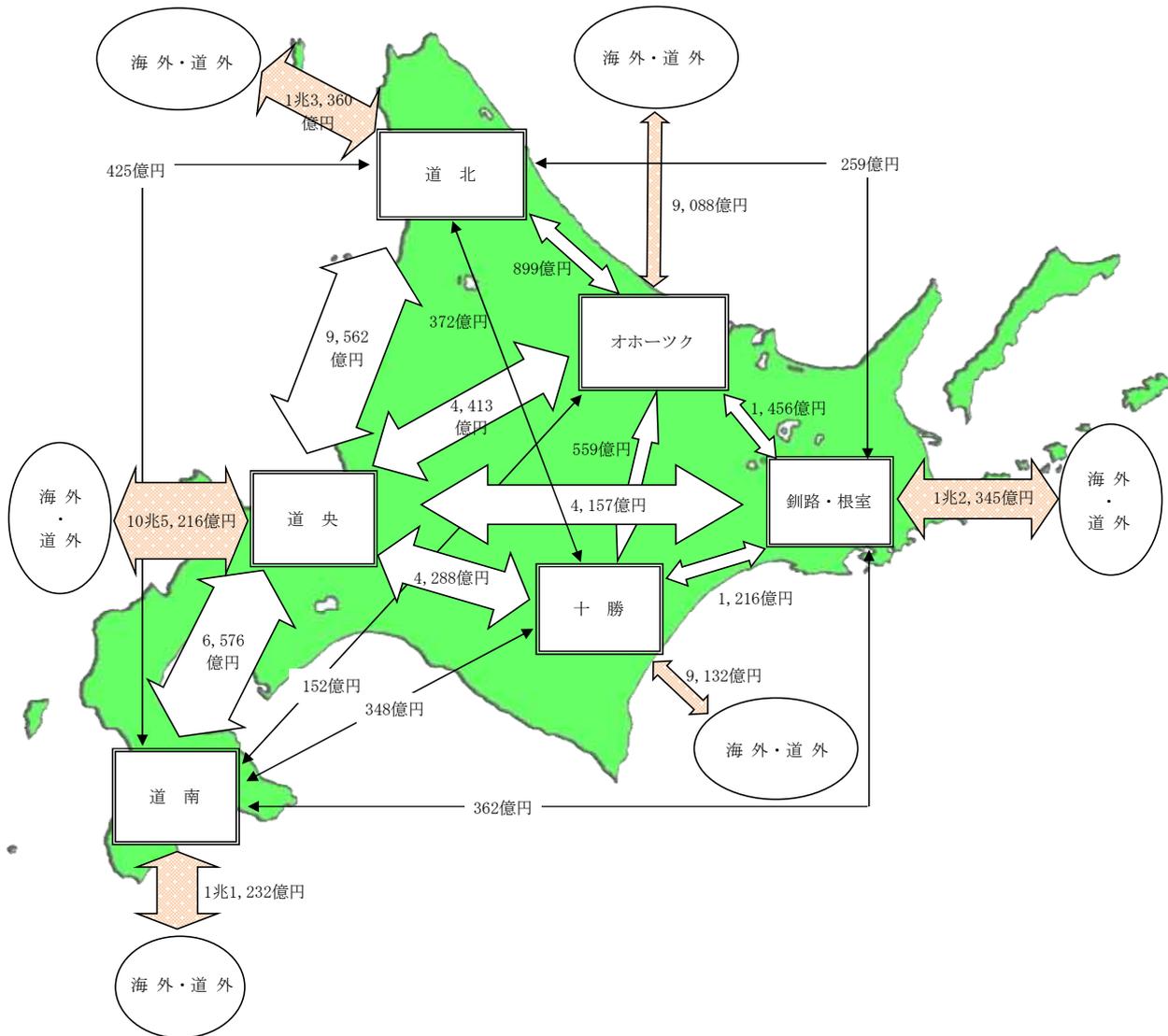
	道 央		道 南		道 北		オホーツク		十 勝		釧路・根室	
	道 外	道 内	道 外	道 内	道 外	道 内	道 外	道 内	道 外	道 内	道 外	道 内
	域際収支	域際収支	域際収支	域際収支	域際収支	域際収支	域際収支	域際収支	域際収支	域際収支	域際収支	域際収支
1 農業	115	▲ 338	124	▲ 317	900	160	707	34	986	303	405	157
2 林業	▲ 46	▲ 69	▲ 1	▲ 5	▲ 9	25	6	6	4	30	▲ 11	13
3 漁業	21	▲ 160	49	▲ 185	61	157	113	278	9	1	67	▲ 92
4 鉱業	▲ 8,579	109	▲ 34	▲ 73	▲ 32	▲ 81	▲ 8	▲ 21	▲ 9	▲ 24	▲ 44	90
5 製造業	▲ 15,628	3,891	▲ 977	▲ 833	▲ 2,978	▲ 1,849	▲ 661	▲ 560	▲ 1,526	▲ 703	217	53
うち 食肉・畜産食料品	181	▲ 55	341	▲ 25	286	▲ 80	400	24	461	31	563	105
水産食料品	▲ 135	▲ 50	1,133	108	332	▲ 99	475	▲ 29	27	▲ 81	1,537	150
その他の食料品	▲ 3,551	88	▲ 176	▲ 145	▲ 399	▲ 380	▲ 44	▲ 11	▲ 126	85	▲ 393	363
繊維	▲ 1,506	▲ 24	▲ 203	2	▲ 270	41	▲ 157	▲ 8	▲ 150	▲ 5	▲ 166	▲ 5
木材・家具	▲ 617	20	15	▲ 27	73	8	138	68	46	▲ 8	8	▲ 60
パルプ・紙	1,112	▲ 14	▲ 37	▲ 60	195	11	▲ 45	▲ 59	▲ 10	▲ 55	550	176
印刷・製版・製本	▲ 269	125	▲ 33	▲ 34	▲ 40	▲ 2	▲ 24	▲ 32	▲ 25	▲ 19	▲ 26	▲ 37
化学製品	▲ 3,826	165	▲ 414	▲ 62	▲ 654	▲ 181	▲ 304	▲ 68	▲ 369	▲ 41	▲ 232	187
石油・石炭製品	2,690	2,513	▲ 395	▲ 527	▲ 464	▲ 709	▲ 280	▲ 398	▲ 278	▲ 397	▲ 327	▲ 482
窯業・土石製品	▲ 156	▲ 34	31	143	▲ 10	▲ 16	▲ 12	▲ 31	▲ 9	▲ 22	▲ 15	▲ 40
鉄鉄・粗鋼	366	1	▲ 11	0	▲ 5	0	▲ 2	▲ 1	▲ 2	0	▲ 3	0
鉄鋼一次製品	1,327	238	▲ 59	▲ 53	▲ 80	▲ 69	▲ 55	▲ 43	▲ 49	▲ 42	▲ 37	▲ 31
非鉄金属一次製品	▲ 599	15	▲ 77	▲ 3	▲ 70	▲ 3	▲ 86	▲ 4	▲ 54	▲ 2	▲ 35	▲ 2
金属製品	▲ 610	283	▲ 104	▲ 59	▲ 125	▲ 74	▲ 72	▲ 60	▲ 60	▲ 31	▲ 85	▲ 59
機械	▲ 7,643	213	▲ 736	17	▲ 1,432	▲ 194	▲ 405	151	▲ 745	▲ 38	▲ 878	▲ 150
そのほか(注)	▲ 2,390	407	▲ 251	▲ 109	▲ 316	▲ 100	▲ 189	▲ 60	▲ 182	▲ 77	▲ 244	▲ 61
6 電力・ガス・水道	▲ 1	1,032	▲ 0	279	▲ 1	▲ 440	▲ 1	▲ 256	▲ 1	▲ 241	▲ 1	▲ 376
7 商業	425	1,486	▲ 216	▲ 553	▲ 134	▲ 258	▲ 135	▲ 323	▲ 29	13	▲ 106	▲ 365
8 金融・保険・不動産	▲ 1,397	1,671	▲ 178	▲ 322	▲ 257	▲ 586	▲ 126	▲ 197	▲ 135	▲ 718	▲ 132	153
9 運輸・情報通信	2,131	786	94	▲ 63	36	▲ 304	12	▲ 138	87	▲ 81	95	▲ 199
10 サービス業	▲ 955	1,507	▲ 114	▲ 147	▲ 211	▲ 796	▲ 116	▲ 435	▲ 95	44	▲ 91	▲ 173
11 分類不明	2	5	0	▲ 1	1	▲ 2	0	▲ 1	0	▲ 1	0	▲ 1
合 計	▲ 23,911	9,921	▲ 1,253	▲ 2,220	▲ 2,625	▲ 3,975	▲ 207	▲ 1,612	▲ 709	▲ 1,377	400	▲ 738

(注)33部門分類(参考表参照)における皮革・ゴム、その他製造品及び事務用品

4 北海道内地域間の交易構造

道内各地域間の交易（移出+移入）の金額をみると（図4）、最も金額が大きいのは「道央―道北」間の9,562億円で、次いで「道央―道南」間の6,576億円となっている。

図4 各地域間の交易



道内各地域間の取引の全額に占める各地域間の取引金額の割合をみると（表4）、「道央」とその他5地域との取引は、「道央―道北」間の27.3%をはじめ、いずれも10%を超えており、その合計は82.7%と北海道の経済において「道央」が中心となっていることがわかる。

一方、「道南―オホーツク」間及び「道北―釧路・根室」間の取引は、それぞれ0.4%、0.7%と道内各地域間の中で特に小さい。

表4 各地域間の取引ウエイト

(単位：%)

道央	18.8	27.3	12.6	12.2	11.9
	道南	1.2	0.4	1.0	1.0
		道北	2.6	1.1	0.7
			オホーツク	1.6	4.2
				十勝	3.5
					釧路・根室

5 地域別生産誘発構造

産業連関表において、各産業の生産は、すべて最終需要により誘発される。図5、表5は、地域別に最終需要項目別生産誘発額の割合を表したものであり、各地域の生産がどのような最終需要項目によって誘発されたのかを示している。

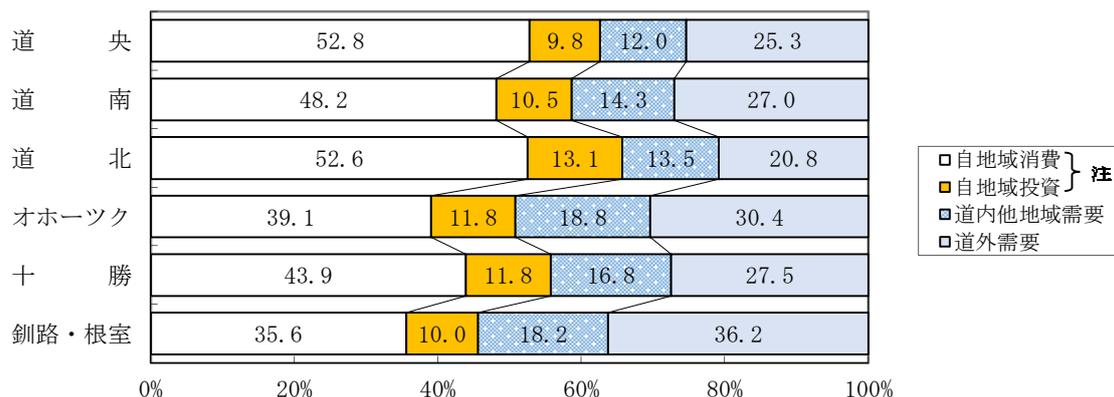
「自地域消費」による生産誘発額の割合をみると、「道央」が生産額（20兆9,762億円）の52.8%（11兆824億円）と最も高く、産業別では第3次産業が48.4%（10兆1,426億円）と高くなっている。

「自地域投資」による生産誘発額の割合は、「道北」が生産額（3兆4,500億円）の13.1%（4,533億円）と最も高く、産業別では第2次産業の建設業が8.8%（3,047億円）と高くなっている。

「道内他地域需要」による生産誘発額の割合は、「オホーツク」が生産額（1兆9,816億円）の18.8%（3,724億円）と最も高く、産業別では第3次産業が10.9%（2,156億円）と高くなっている。

「道外需要」による生産誘発額の割合は、「釧路・根室」が生産額（2兆4,351億円）の36.2%（8,821億円）と最も高く、産業別では第2次産業の製造業が17.9%（4,360億円）と高くなっている。

図5 地域別最終需要項目別生産誘発構造



(注) 自地域消費とは、自地域の家計外消費支出、民間消費支出及び一般政府消費支出のことである。

自地域投資とは、自地域の総固定資本形成（公的、民間）及び在庫純増のことである。（13部門分類参照）

表5 地域別最終需要項目別生産誘発額の割合

(億円、%)

道	産業	自地域消費	割合	自地域投資	割合	道内他地域需要	割合	道外需要	割合	合計	割合	
		道央	第1次産業	670	0.3	143	0.1	732	0.3	2,451	1.2	3,996
道央	第2次産業	飲業	68	0.0	22	0.0	201	0.1	269	0.1	560	0.3
		製造業	7,522	3.6	2,337	1.1	6,908	3.3	24,843	11.8	41,610	19.8
		建設業	1,137	0.5	11,777	5.6	335	0.2	266	0.1	13,515	6.4
	道央	第3次産業	101,426	48.4	6,312	3.0	17,016	8.1	25,328	12.1	150,081	71.5
道央	合計	110,824	52.8	20,590	9.8	25,191	12.0	53,157	25.3	209,762	100.0	
道南	第1次産業	163	0.7	53	0.2	89	0.4	803	3.2	1,108	4.4	
	第2次産業	飲業	17	0.1	8	0.0	25	0.1	17	0.1	66	0.3
		製造業	742	3.0	232	0.9	559	2.2	3,292	13.2	4,825	19.3
		建設業	100	0.4	1,672	6.7	71	0.3	27	0.1	1,869	7.5
	道南	第3次産業	11,029	44.1	651	2.6	2,840	11.4	2,609	10.4	17,129	68.5
道南	合計	12,051	48.2	2,616	10.5	3,583	14.3	6,748	27.0	24,998	100.0	
道北	第1次産業	326	0.9	144	0.4	643	1.9	1,683	4.9	2,796	8.1	
	第2次産業	飲業	14	0.0	16	0.0	4	0.0	15	0.0	48	0.1
		製造業	914	2.6	300	0.9	487	1.4	2,251	6.5	3,953	11.5
		建設業	145	0.4	3,047	8.8	79	0.2	35	0.1	3,306	9.6
	道北	第3次産業	16,739	48.5	1,025	3.0	3,439	10.0	3,196	9.3	24,398	70.7
道北	合計	18,136	52.6	4,533	13.1	4,652	13.5	7,180	20.8	34,500	100.0	
オホーツク	第1次産業	170	0.9	146	0.7	684	3.5	1,647	8.3	2,647	13.4	
	第2次産業	飲業	5	0.0	9	0.0	9	0.0	7	0.0	30	0.2
		製造業	424	2.1	173	0.9	834	4.2	2,608	13.2	4,039	20.4
		建設業	67	0.3	1,539	7.8	41	0.2	23	0.1	1,670	8.4
	オホーツク	第3次産業	7,074	35.7	464	2.3	2,156	10.9	1,735	8.8	11,429	57.7
オホーツク	合計	7,741	39.1	2,330	11.8	3,724	18.8	6,020	30.4	19,816	100.0	
十勝	第1次産業	206	1.0	171	0.8	687	3.3	1,842	8.7	2,907	13.8	
	第2次産業	飲業	8	0.0	9	0.0	15	0.1	10	0.0	42	0.2
		製造業	522	2.5	193	0.9	635	3.0	1,823	8.7	3,174	15.1
		建設業	73	0.3	1,570	7.5	31	0.1	25	0.1	1,699	8.1
	十勝	第3次産業	8,444	40.1	550	2.6	2,168	10.3	2,085	9.9	13,247	62.9
十勝	合計	9,253	43.9	2,495	11.8	3,536	16.8	5,785	27.5	21,069	100.0	
釧路・根室	第1次産業	186	0.8	177	0.7	629	2.6	1,958	8.0	2,950	12.1	
	第2次産業	飲業	6	0.0	9	0.0	95	0.4	36	0.1	147	0.6
		製造業	585	2.4	243	1.0	1,312	5.4	4,360	17.9	6,499	26.7
		建設業	84	0.3	1,511	6.2	46	0.2	34	0.1	1,675	6.9
	釧路・根室	第3次産業	7,804	32.0	502	2.1	2,341	9.6	2,433	10.0	13,079	53.7
釧路・根室	合計	8,665	35.6	2,441	10.0	4,423	18.2	8,821	36.2	24,351	100.0	